2026 年 11 月 10 日（火）
愛知県経済産業局産業部
産業科学技術課科学技術グループ
担当　吉富、水野、佐藤
内線　3408、5466
電話　052-954-6351（ダイヤルイン）

知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅤ期技術セミナー「低純度水素対応燃料電池に関する技術紹介」の参加者を募集します！

愛知県では、本県産業が抱える主要な技術的課題の解決を目指して、産学行政が連携して取り組む研究開発を支援する「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅤ期※1」を2025 年度から実施しています。

この度、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学及び公益財団法人科学技術交流財団と共催で燃料電池開発に関する技術セミナー「低純度水素対応燃料電池に関する技術紹介」を開催します。本セミナーでは、知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅤ期「山間地域での水素エネルギー普及に向けた低純度水素対応 PEFC 開発※2」で進められている、水素改質時の被毒体制を持つカーボンコアシェル Pt 合金触媒の合成と、それを利用した燃料電池用触媒の開発・評価、バイオマス由来等の低純度水素対応燃料電池の実用化に向けた展望について紹介します。

参加費は無料です。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

１　日時

2026年12月24日(木) 午後2時から午後5時まで(受付開始：午後1時30分)

２　場所

名古屋大学ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)3階大会議室
名古屋市千種区不老町
(名古屋地下鉄名城線「名古屋大学」駅 下車)

３　定員

30名(申込先着順)

4　内容

時間	内容
14:00～14:10	主催者あいさつ 名古屋大学　教授　澤田（さわだ）　康之（やすゆき） 氏　愛知県　主査　佐藤（さとう）　広一（ひろかず）
14:10～15:00	「カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギー・デバイスの研究開発」 名古屋大学　教授　松尾（まつお）　豊（ゆたか） 氏
	休　憩
15:10～15:40	「山間地域における水素エネルギー普及に向けた低純度水素対応アノード触媒の開発」 名古屋大学　特任講師　Miftakhul（ミフタフル）　Huda（フダ） 氏
15:40～16:10	「ソリューションプラズマを用いた燃料電池向け触媒開発とその性能評価」 名古屋大学　教授　澤田　康之　氏
16:10～16:40	「単層カーボンナノチューブの燃料電池への応用」 株式会社名城ナノカーボン　代表取締役　橋本（はしもと）　剛（たけし） 氏
16:40～17:10	「燃料電池に関する分析・試験サービスの取組み」 株式会社クリアライズ　椎名（しいな）　孝介（こうすけ） 氏、齊藤（さいとう）　颯冶（そうや） 氏

5　参加費

無料

6　対象

関係分野の研究・製品開発に取り組む研究者・企業関係者の方を始め、どなたでも参加できます。

7　申込方法

以下のURL又は二次元コードからWebページにアクセスし、「低純度水素対応燃料電池に関する技術紹介」の申込フォームに御記入ください。なお、申込時点で定員に達していた場合は、電話又はメールにて早急にお断りの連絡をします。

https://bit.ly/H2-energy-aichi

二次元コード

8　申込期限

2026年12月17日(木) 午後5時

申込期限前でも定員になり次第締め切ります。

９　主　　催

・国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所
・公益財団法人 科学技術交流財団
・愛知県

10　問合せ先

名古屋大学　大学院工学研究科　化学システム工学専攻
特任講師　Miftakhul Huda（ミフタフル・フダ）
電話：052-789-5718
メール: miftakhul.huda.j7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

【用語説明】

※１　知の拠点あいち重点研究プロジェクト

付加価値の高いモノづくりを支援する研究開発拠点「知の拠点あいち」を中核に大学等の研究シーズを活用したオープンイノベーションにより、県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新たなサービスの提供を目指す産学行政の共同研究開発プロジェクト。2011 年度から 2015 年度まで「重点研究プロジェクトⅠ期」、2016 年度から 2018 年度まで「重点研究プロジェクトⅡ期」、2019 年度から 2021 年度まで「重点研究プロジェクトⅢ期」、2022 年度から 2024 年度まで「重点研究プロジェクトⅣ期」を実施し、2025 年度から「重点研究プロジェクトⅤ期」を実施している。
（「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」Web サイト）
https://www.astf-kha.jp/project/

「重点研究プロジェクトⅤ期」の概要

目的	愛知県の主要産業が抱える技術的課題の解決を目指し、産学行政が連携して研究開発を推進。生成 AI やビッグデータ等のデジタル技術を活用し、革新的イノベーションの創出と脱炭素社会の実現に貢献する。
研究枠	① 実用枠 実施期間：４年間（2025～2028 年度） 目　　標：製品化・実用化 **② 挑戦枠** **実施期間：２年間（2025～2026 年度）** **目　　標：技術確立の目途以上** ③ 国際枠 実施期間：予備研究１年間（2025 年度） 本格研究３年間（2026～2028 年度） 目　　標：技術確立の目途以上
研究分野	・マニュファクチャリング（次世代モビリティ、ロボット等） ・ヘルスケア（介護・医療機器、感染症対策等） ・アグリ・フィッシュ（スマート農業・漁業、発酵技術等） ・カーボンニュートラル（水素、バイオ燃料、CO_2除去等）
研究テーマ数	・研究テーマ数：計 18 件 ・参画機関数：70 機関（22 大学、５研究開発機関、43 社）（2026 年６月時点）

及び参画機関数	
分野・テーマ	**〔カーボンニュートラル分野〕** 5テーマ ・「人協働型セラミックス自動実験システム構築と電池材料探索プロトコル開発」 ・「革新的ブルー燃料・ブルーコークス併産複合プロセスの開発」 ・「直流マイクログリッド普及のための変換器の小型化と遮断装置の開発」 **・「山間地域での水素エネルギー普及に向けた低純度水素対応 PEFC 開発 」** ・「MOF炭素化技術によるPtフリー燃料電池触媒製造」

※2 山間地域での水素エネルギー普及に向けた低純度水素対応 PEFC 開発

研究リーダー	名古屋大学　大学院工学研究科　特任講師　Miftakhul Huda 氏
事業化リーダー	株式会社名城ナノカーボン　橋本 剛 氏 株式会社クリアライズ　横田（よこた） 光（あきら） 氏
内容	山間地域への水素エネルギー普及には、バイオマスや廃棄物由来の低コスト・低純度水素に対応するPEFCが有効である。現状、これらの水素はCOやH_2S等の不純物が多く未利用で、高純度化は製造コストの約50%を占めるため高価であり、未精製では燃料電池性能が低下する。この解決には、改質時に発生する不純物に対する高い被毒耐性を持つアノード触媒の開発が必須である。そのために、カーボンシェルとPt系コアからなる被毒耐性触媒を開発・実証する。これにより、低純度水素対応PEFCの普及を通じ、地方での持続可能な水素エネルギーの地産地消を加速する。
参加機関	〔大学〕 名古屋大学、千葉大学 〔研究開発機関等〕 公益財団法人科学技術交流財団 〔企業〕 株式会社名城ナノカーボン、株式会社クリアライズ